

年間指導計画表(シラバス)

科目名	現代の国語	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 現代の国語(第一学習社)</p> <p><五訂版>漢字検定 5～2 級対応常用漢字ダブルクリア(尚文出版)</p> <p>新演習現代文アチーブ2四訂版(桐原書店)</p> <p>スタディサプリ(リクルート)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	330点	330点	330点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・〈自己と他者〉(評論一)『「本当の自分」幻想』 ・〈比較文化〉(評論二)『水の東西』 ・〈小説一〉『砂に埋もれたル・コルビュジエ』 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・ワークシートの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析
	110点	110点	110点	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・〈言語〉(評論三)『ものとことば』 ・〈小説二〉『鏡』 ・〈日本文化〉(評論四)『無彩の色』 ・〈社会・政治〉(評論五)『フェアな競争』 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・ワークシートの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析
	110点	110点	110点	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・〈時間と近代〉(評論六)『不均等な時間』 ・〈環境問題〉(評論七)『ロビンソンの人間と自然』 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査等 ・ワークシートの記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題等 ・授業中の行動観察 ・ワークシートの記述分析
	110点	110点	110点	

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	・ガイダンス ・〈自己と他者〉(評論一)『「本当の自分」幻想』 平野 啓一郎	6
	5	-----1学期中間考査	
	6	・〈比較文化〉(評論二)『水の東西』 山崎 正和	8
	7	・〈小説一〉『砂に埋もれたル・コルビュジエ』 原田 マハ -----1学期期末考査	10
2 学 期	8	・〈言語〉(評論三)『ものごとば』 鈴木 孝夫	8
	9	・〈小説二〉『鏡』 村上 春樹 -----2学期中間考査	8
	10	・〈日本文化〉(評論四)『無彩の色』 港 千尋	7
	11	・〈社会・政治〉(評論五)『フェアな競争』 内田 樹	10
	12	-----2学期期末考査	
3 学 期	1	-----冬休み明け課題考査	6
	2	・〈時間と近代〉(評論六)『不均等な時間』 内山 節	7
	3	・〈環境問題〉(評論七)『ロビンソンの人間と自然』 村岡 晋一 -----学年末考査	

5 その他

<p>副教材「新演習 現代文アチーブ2」「常用漢字ダブルクリア」を定期試験および長期休業の課題とする。</p> <p>「新演習アチーブ2」 春課題p.4～p.11 1学期中間試験p.12～p.17 1学期期末試験p.18～p.27 夏課題p.28～p.35 2学期中間試験p.36～p.43 2学期期末試験p.44～p.53 冬課題テストp.54～p.61 学年末試験p.62～p.75</p> <p>「常用漢字 ダブルクリア」 春課題p.68～p.75 1学期中間試験p.76～p.81 1学期期末試験p.82～p.89 夏課題p.90～p.99 2学期中間試験p.100～p.107 2学期期末試験 p.108～p.115 冬課題テストp.116～p.123 学年末試験p.124～p.133 3年次春課題p.134～p.141</p>

年間指導計画表(シラバス)

科目名	公共	単位数	2 単位
		学年等	2 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>公共(東京書籍)</p> <p>クローズアップ公共2026(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>「公共の扉」</p> <p>・公共的な空間を作る私たち</p> <p>・公共的な空間における人間としての在り方生き方</p>	<p>・定期考査</p> <p>・レポート課題</p>	<p>・定期考査</p> <p>・レポート課題</p>	<p>・学習課題</p> <p>・レポート課題</p> <p>・記述分析</p>

	・公共的な空間における基本的原理			
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」 ・主として法に関わる事項 ・主として政治に関わる事項 ・主として経済に関わる事項	・定期考査 ・レポート課題	・定期考査 ・レポート課題	・学習課題 ・レポート課題 ・記述分析
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」 ・現代の諸課題の探究	・定期考査 ・レポート課題	・定期考査 ・レポート課題	・学習課題 ・レポート課題 ・記述分析
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	「公共のとびら」 ・青年期を生きる私たち	2
	5	・他者とともに生きる人間としてのあり方	3
	6	・公共的な空間における倫理	4
	7	・公共的な空間における基本的原理	10
1 学期期末考査			
2 学期	8	「自立した主体として社会に参画する私たち」 ・民主政治と私たち	6
	9	民主政治と政治参加 ・法の働きと私たち	8
	10	法や規範の意義と役割 市民生活と私法 国民の司法参加	10
		・経済社会で生きる私たち 現代の経済と市場 市場経済における金融の働き 財政の役割と持続可能な社会保障制度	
	11	・私たちの職業生活 働くことの意義と職業選択 労働者の権利と雇用・労働問題	2
	12	・国際社会のなかで生きる私たち 国際社会のルールとしくみ 国際社会と平和主義 国際平和への課題 グローバル化する国際経済	12
2 学期期末考査			
3 学期	1	「持続可能な社会づくりに参画するために」	13
	2		
	3		

5 その他

- ・基礎的な知識や理解を踏まえて、ペア学習やグループ学習等を行います。
- ・定期考査ごとに、授業プリントの提出を求めます。
- ・ディベートやロールプレイング等の討論活動を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 A	単位数	2 単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>改訂版 最新 数学A(数研出版)</p> <p>改訂版 書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用 パラレルノート 数学A(数研出版)</p> <p>スタディサプリ(リクルート)</p> <p>書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用 パラレルノート 数学 I (数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>数学と人間の活動の関係について認識を深めている。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</p>	<p>図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数学的に考察する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
評価点	250 点	250 点	250 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔第1章 場合の数と確率〕 第1節 場合の数 第2節 確率	・定期試験	・定期試験 ・パフォーマンス課題	・学習課題 ・パフォーマンス課題
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学期	〔第2章 図形の性質〕 第1節 三角形の性質 第2節 円の性質 第4節 空間図形	・定期試験	・定期試験 ・パフォーマンス課題	・学習課題 ・パフォーマンス課題
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	〔第3章 数学と人間の活動〕 1. 約数と倍数 2. 1次不定方程式 3. 記数法 4. 座標の考え方 5. ゲーム・パズルの中の数学	・定期試験	・定期試験 ・パフォーマンス課題	・学習課題 ・パフォーマンス課題
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	[第1章 場合の数と確率] 第1節 場合の数	8
	5	1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 樹形図、和の法則、積の法則	
	6	4. 順列 5. 円順列と重複順列 6. 組み合わせ	16
	7	第2節 確率 7. 確率の意味 8. 確率の計算 9. 確率の基本性質 10. 和事象の確率 11. 余事象の確率	
		1学期中間試験	
		◆-----	
		1学期期末試験	
2 学期	8	12. 独立な試行の確率 13. 反復試行の確率 14. 条件付き確率 15. 期待値	13
	9	[第2章 図形の性質] 第1節 三角形の性質	
	10	1. 角の二等分線と比 2. 三角形の外心、内心、重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理	
	11	第2節 円の性質 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円と接線 7. 接線と弦の作る角 8. 方べきの定理 9. 2つの円	
		2学期中間試験	
		◆-----	
		2学期期末試験	
3 学期	12	第4節 空間図形 12. 空間における直線と平面 13. 多面体	20
	1	[第3章 数学と人間の活動]	
	2	1. 約数と倍数 2. 1次不定方程式 3. 記数法 4. 座標の考え方	
	3	5. ゲーム・パズルの中の数学	
		◆-----	
		学年末試験	

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	科学と人間生活	単位数	2 単位
		学年等	2 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に関する次の資質・能力を育成する。</p> <p>(1)科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。</p> <p>(2)身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。</p> <p>(3)自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方についての考察を通して、興味・関心を高める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高等学校 改訂 科学と人間生活(第一学習社)</p> <p>改訂 ネオパルノート科学と人間生活(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、それらを科学的に探究する方法を身につける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第 I 章 物質の科学 第 2 節 医療と食品 第 II 章 生命の科学 第 2 節 微生物とその利用	・定期考査等	・定期考査 ・授業プリントの整理 ・副教材の取り組み	・振り返りシート ・高校講座視聴メモ ・実験・実習作業
		70点	70点	70点
2 学 期	第 III 章 熱や光の科学 第 1 節 熱の性質とその利用 第 IV 章 地球や宇宙の科学 第 1 節 自然環境と自然災害	・定期考査等	・定期考査 ・授業プリントの整理 ・副教材の取り組み	・振り返りシート ・高校講座視聴メモ ・実験・実習作業
		70点	70点	70点
3 学 期	第 II 章 生命の科学 第 1 節 ヒトの生命現象	・定期考査等	・定期考査 ・授業プリントの整理 ・副教材の取り組み	・振り返りシート ・高校講座視聴メモ ・実験・実習作業
		60点	60点	60点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第Ⅰ章 物質の科学 第2節 衣料と食品 ・身近な繊維 ・繊維の構造と染色 ・天然繊維 ・化学繊維 課題1の実施	7
	5	・食品中の主な栄養素 ・炭水化物 ・タンパク質 ・脂質 ・その他の栄養素 課題2の実施 学習の振り返り プリント整理 ネオパルノート学習	8
	6	第Ⅱ章 生命の科学 第2節 微生物とその利用 ・身近な微生物 ・微生物の発見 ・生態系内の微生物 ・微生物の利用	8
	7	・食品と微生物 ・医薬品と微生物 ・微生物の利用の広がり 課題3の実施 学習の振り返り プリント整理 ネオパルノート学習 1学期期末考査	8
	8	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 ・温度と熱運動 ・熱容量と比熱 ・熱の伝わり方	4
2 学期	9	・仕事や電流と熱の発生 ・エネルギーの移り変わり ・エネルギーの有効活用 課題4の実施 学習の振り返り プリント整理 ネオパルノート学習	8
	10	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 第1節 自然環境と自然災害 ・日本列島の成り立ち ・火山活動と地表の変化 ・	8
	11	火山災害と防災 ・地震活動と地表の変化	
	12	・地震災害と防災 ・水のはたらきと地表の変化 課題5・6の実施 学習の振り返り プリント整理 ネオパルノート学習 2学期期末考査	6
3 学期	1	第Ⅱ章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象	4
	2	・タンパク質のはたらきと構造 ・遺伝子と DNA ・タンパク質の合成 ・血糖濃度の調整 ・血糖濃度と糖尿病 ・病原体の排除 ・ヒトの視覚 課題7・8の実施 学習の振り返り プリント整理 ネオパルノート学習	5
	3	課題9の実施 年間の学習の振り返り 学年末考査	4

5 その他

- ・実験・実習作業や NHK 高校講座視聴などによる探究活動を行い、科学的に探究する力を育成します。
- ・集中して授業を受け、その日に習った内容は問題集を積極的に活用し復習するようにしましょう。
- ・振り返りシートは詳しく記入するようにしましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2 単位
		学年等	2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>現代高等保健体育(大修館書店)</p> <p>現代高等保健体育ノート(大修館書店)</p> <p>ステップアップ高校スポーツ2025(大修館書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価点	90点	90点	90点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・体づくり運動 ・体育理論 ・陸上競技 リレー ・種目別選択授業 単元2「運動スポーツの学び方」 第1・2・3章	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の行動観察 ・実技テスト ・筆記テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の行動観察 ・学習カード等の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 ・学習カード等の記述分析
	評価点	30点	30点	30点
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論 第4・5・6章 ・種目別選択授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の行動観察 ・実技テスト ・筆記テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の行動観察 ・学習カード等の記述分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 ・学習カード等の記述分析
	評価点	30点	30点	30点

3 学期	・種目別選択授業 ・陸上競技「長距離走・駅伝」	・授業の行動観察 ・実技テスト ・筆記テスト	・授業の行動観察 ・学習カード等の記述 分析	・課題提出 ・学習カード等の記述 分析
	評価点	30点	30点	30点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	・オリエンテーション ・体づくり運動、集団行動・集団作り	25
	5	・陸上競技 リレー	
	6	・種目別選択制授業Ⅰ	
	7	1 ダンス 2 ソフトボール 3 バレーボール 4 テニス	
		「体育理論」は7月に実施する。 1 スポーツにおける技能と体力 2 スポーツにおける技術と戦術 3 技能の上達過程と練習	
2 学期	8	「体育理論」は8月に実施する。 4 効果的な動きのメカニズム 5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	30
	9	・種目別選択制授業Ⅱ	
	10	1 卓球	
	11	2 バドミントン 3 バレーボール 4 サッカー	
	12	種目別選択制授業Ⅲ 1 テニス 2 バドミントン 3 サッカー 4 バスケットボール	
3 学期	1	・種目別選択制授業Ⅲの続き	15
	2	・陸上競技 長距離走 駅伝	
	3		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1 単位
		学年等	2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>現代高等保健体育(大修館書店)</p> <p>現代高等保健体育ノート(大修館書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	3単元 生涯を通じる健康	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・保健ノートの記述分析	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・保健ノートの記述分析	・学習課題等 ・保健ノートの記述分析
		50点	50点	50点
2 学期	4単元 健康を支える環境づくり	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・保健ノートの記述分析	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・保健ノートの記述分析	・学習課題等 ・保健ノートの記述分析
		50点	50点	50点
3 学期	4単元 健康を支える環境づくり	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・保健ノートの記述分析	・定期考査 ・授業中の行動観察 ・保健ノートの記述分析	・学習課題等 ・保健ノートの記述分析
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	ライフステージと健康 ライフステージと健康について説明できる 思春期と健康 思春期における体と心の発達や変化を女性と男性に分けて説明できる	3
	5	性意識と性行動の選択 性意識の男女差や個人差について例をあげて説明できる	4
	6	妊娠・出産と健康 この過程の健康課題や母子健康サービス例をあげることができる	5
		避妊法と人工妊娠中絶 家族計画の意義と適切な避妊法などについて説明できる	
	7	結婚生活と健康 心身の発達と結婚生活について考え、それに対する説明ができる	5
		中高年期と健康 加齢に伴う心身の変化や高齢化社会の取り組みが説明できる 学期期末考査	
	2 学期	8	働くことと健康 その意義や働き方と健康問題について説明できる
9		労働災害と健康 種類と原因を例に挙げ、それを防止する方法が説明できる 健康的な職業生活 職場の取り組みと余暇の意義が説明できる	4
10		大気汚染と健康 原因と健康影響について地球規模でも説明できる	4
		水質汚濁・土壌汚染と健康 原因と健康影響、複合汚染について説明できる	
11		環境と健康にかかわる対策 環境汚染や産業廃棄物の処理について説明できる	4
		ごみの処理と上下水道の整備 処理の現状や課題,上下水道の仕組みが説明できる	
12	食品の安全性 健康とのかかわりや今日的課題について説明できる 食品衛生にかかわる活動 安全性における個人や行政, 製造者の役割が説明できる 2学期期末考査	3	
3 学期	1	保健サービスとその活用 行政の役割, 保健サービスの活用を説明できる	3
	2	医療サービスとその活用 医療保険の仕組みや医療機関の役割が説明できる	5
		医療品の制度とその活用 正しい使用法と安全性について説明できる	
3	さまざまな保健活動や社会的対策 国際・民間・行政機関の活動が説明できる 健康に関する環境づくりと社会参加 保持増進には主体的参加が必要だと説明できる 学年末考査		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2 単位
		学年等	2 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽の諸活動を通して、音楽の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)個性豊かに音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3)主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>MOUSA2(教育芸術社)</p> <p>改訂音楽通論(教育芸術社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて表現している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>【歌唱】斉唱・独唱</p> <p>【鑑賞】映画音楽・ミュージカルなど</p> <p>【器楽】クラシックギター</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシートの記述</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学期	<p>【歌唱】重唱・合唱</p> <p>【鑑賞】世界の音楽</p> <p>【器楽】器楽アンサンブル</p> <p>【創作】アレンジ・リズムアンサンブルなど</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシートの記述</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	<p>【器楽】レンタル楽器使用(ヴァイオリン予定)</p> <p>【鑑賞】日本の音楽・郷土の音楽</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシートの記述</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	【歌唱】斉唱・独唱 ・日本や諸外国の様々な曲に親しみ、それぞれの特徴を理解し、曲にふさわしい表現を考え個性豊かに歌う。	10
	5		
	6	【鑑賞】映画音楽・ミュージカルなど ・音楽と映像の結びつきや登場人物の心情表現など、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりによって生み出される効果について考えながら鑑賞する。	6
	7	【器楽】クラシックギター ・コードの構成音を理解し、コード変換時の運指などを考えて演奏する。 ・ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果のかかわりを理解し、ストロークなどを考え、個性豊かに表現を工夫して弾き語りをする。	10
2 学期	8	【歌唱】重唱・合唱	8
	9	・創意工夫を生かした合唱を行うために必要な表現形態の特徴や各パートの役割を理解する。	
	10	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりによって生み出される表現の効果を考えながら、他者との調和を意識して歌う技能を身につける。	
	11	【鑑賞】世界の音楽 ・世界の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めながらその良さや美しさを味わう。	4
12	【器楽】器楽アンサンブル ・曲想と楽器の音色や奏法との関わりや、そこから生み出される表現上の効果について理解する。 ・他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。	6	
	【創作】アレンジ・リズムアンサンブルなど ・音楽を形づくっている要素を変化させ、表現したいイメージと関連付けながら個性豊かに創作表現を行う。	8	
3 学期	1	【器楽】三味線	12
	2	・楽器の特徴や奏法について理解し、和楽器の良さや味わいながら弾き歌いを行う。	
	3	【鑑賞】日本の音楽・郷土の音楽 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深める。 ・音楽を形づくっている要素やそれらの働きに注目しながら曲を聴き、表現上の効果を理解する。	6

5 その他

- ペア・グループでの学習が多いので、積極的に参加し取り組んでください。
- 題材ごとに実技テストを実施します。(発表会形式での実施もあります。)
- 授業内で筆記テストを実施します。(内容によっては小テスト実施)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統や文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>書道Ⅱ(教育出版)</p> <p>新版 応用ペン習字(教育図書)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深める。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	○漢字の書 ○刻字の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・作品 ・ワークシート
	評価点	30点	30点	30点
2 学 期	○漢字作品制作 ○硬筆の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・副教材 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・副教材 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・作品 ・副教材 ・ワークシート
	評価点	35点	35点	35点
3 学 期	○仮名の書 ○漢字かな交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品 ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・作品 ・ワークシート
	評価点	35点	35点	35点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○漢字の書 ・さまざまな書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の特徴を理解する。 ・古典を鑑賞し、個性的で多様な表現を学習し臨書する。 ○刻字の学習 ・制作の手順に従って、草稿を工夫し、刻字作品を制作する。 ・完成作品を鑑賞する。	26
	5		
	6		
	7		
2 学 期	8	○漢字の書 ・古典の鑑賞を通して学んだ特徴や表現を生かし、漢字作品を制作する。 ・完成作品を鑑賞する。 ○硬筆の学習 ・硬筆の正しい姿勢・執筆法を理解し、漢字や平仮名などの単体、縦書きおよび横書きの文章を美しく表現する。 ・はがき・封筒など、実用を意識し、正しく表現する。	26
	9		
	10		
	11		
3 学 期	1	○仮名の書 ・書道Ⅰの学習を振り返り、仮名の姿勢・執筆法を理解し、平仮名や変体仮名および連綿を表現する。 ・古筆の鑑賞を通して、ちらし書きの美について理解し、表現する。 ○漢字仮名交じりの書 ・題材を考え、作品の表現意図を構想する。 ・用具・用材による表現効果を理解し、意図に基づいた表現を工夫する。 ・字形や紙面構成を工夫し、作品を制作する。 ・完成作品を鑑賞する。	18
	2		
	3		

5 その他

- 書道Ⅱの授業では感性を働かせて作品のよさや美しさを捉えることが重要です。作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。筆や硯などの用具は大切に扱きましょう。制作については何を表現したいか、表現の意図を大切に、詩文の選定、用具・用材を選択し、作品を構想し表現を工夫していきましょう。
- 表現の技能の習得について、1枚ごとに自らの課題や問題点を見極め、それを解決できるように学習を進めることが大切です。学習の記録を丁寧に書き、学習の過程を振り返ることができるようにしておきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高校生の美術2(日本文教出版)</p> <p>その他:デザインセット、スチレンボード、樹脂入り石膏柱、彫塑粘土MCA 等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	【A 表現】 スチレンレリーフ 【B 鑑賞】 教科書掲載作品等の鑑賞	・作品提出 ・授業の行動観察	・作品提出 ・ワークシート ・完成後の感想記入 ・授業の行動観察	・作品提出 ・授業の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
2 学 期	【A 表現】 キャラクター造形, 模刻 【B 鑑賞】 教科書掲載作品等の鑑賞, 文化祭展示作品の鑑賞	・作品提出 ・授業の行動観察	・作品提出 ・完成後の感想記入 ・ワークシート ・授業の行動観察	・作品提出 ・授業の行動観察
	評価点	50点	50点	50点
3 学 期	【A 表現】 版画(簡易ステンシル) 【B 鑑賞】 教科書掲載作品等の鑑賞, 展覧会鑑賞レポート	・作品提出 ・レポート ・授業の行動観察	・作品提出 ・レポート ・完成後の感想記入 ・授業の行動観察	・作品提出 ・レポート ・授業の行動観察
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション ・準備物, 授業の進め方の説明	2
	5	○スチレンレリーフ ・題材の選択, デザイン決定 ・層の構成の決定	20
	6	・スチレンボードの裁断 ・着彩, 接着	
	7	○キャラクター造形 ・題材の選択, デザイン決定	4
2 学 期	8	○模刻 (生鮮食品の状態維持のため、「粘土造形」の間で、時期をそろえて開始する) ・題材の観察, 下書き	10
	9	・削り出し	
	10	・細部の再現, やすりかけ ・着彩	
	11	○キャラクター造形(続き) ← ・粘土造形	12
	12	・着彩 ・カード作成	
		○版画(簡易ステンシル) ・題材, (共同制作の場合)担当区分の決定 ・デザイン, 使用する和柄の決定	4
3 学 期	1	・版の計画, 作成 ・スポンジによる着彩	18
	2	○展覧会鑑賞レポート ・各自が赴いた展覧会についてレポートを書く	
	3	(1~2学期中の提出も可能だが, 評価は3学期に含めるものとする)	

5 その他

<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査, 期末考査は実施しない。 ・作品の提出期限を厳守すること。×切時点で採点するので, 未完成の場合大幅な減点となる。なお, 期限を過ぎたとしても, 作品は必ず完成させること。 ・3学期に記載の「展覧会鑑賞レポート」は, 4月の課題説明後, いつ提出しても構わない。ただし, 鑑賞後速やかに提出するものとし, 提出時期に関わらず評価は3学期に含める。 ・年度末の単位認定は, すべての課題の提出が完了していることを前提とする。(長期療養等の事情がある場合は, 芸術科会で検討し判断する)
--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4 単位
		学年等	2 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を定着させ、実際のコミュニケーションにおいて、一定の支援を活用することによって、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用することによって、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話の展開や文章の意図などを的確に捉えたり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手の意図を把握したり、聞き手や読み手に配慮して情報や考えを伝えたりしようとする態度を養う。</p>
使用教科書副教材等	<p>LANDMARK Fit English Communication Ⅱ (啓林館)</p> <p>英語総合問題集UNITE stage0(四訂版)(数研出版)</p> <p>スタディサプリ(リクルート)</p> <p>英単語ターゲット1200 改訂版 (旺文社)</p> <p>総合英語 EMPOWER Essential COURSE(桐原書店)</p> <p>書いて身につくパターンプラクティス英文法教室 3rd Edition (桐原書店)</p> <p>One-Weekトライアル (ベネッセ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、定着させている。</p> <p>・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、一定の支援を活用することによって、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援を活用することによって、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話の展開や文章の意図などを的確に捉えたり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手の意図を把握したり、聞き手や読み手を配慮して情報や考えを伝えたりしようとしている。</p>
評価点	270 点	270 点	270 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan (話すこと[やり取り])	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析 ・パフォーマンステスト
	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins (聞くこと)	・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	
	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle (書くこと)			
	評価点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 4 Seeds for the Future (読むこと)	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析 ・パフォーマンステスト
	Lesson 5 Gaudi and His Messenger (話すこと[発表])	・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	
	Lesson 6 Edo: A Sustainable Society (書くこと)			
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Global (話すこと[やり取り])	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析 ・パフォーマンステスト
	Lesson 8 Our Future with AI (話すこと[発表])	・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	・授業中の行動観察 ・ワークシートやノートの記述分析	
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan 日常的な話題(日本の文化)について、一定の支援を活用することによって、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 -----1.学期中間考査	16
	5	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins 日常的な話題(動物の習性)について、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。	18
	6		
	7	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle 日常的な話題(日本の掃除文化)について、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えを文章で正しく書くことができる。 -----1.学期期末考査	18
2 学期	8	Lesson 4 Seeds for the Future 社会的な話題(食料資源)について、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉え、要約文を読んで伝えることができる。	20
	9		
	10	Lesson 5 Gaudi and His Messenger 社会的な話題(自然や文化)について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用することによって、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 -----2.学期中間考査	18
	11	Lesson 6 Edo: A Sustainable Society 社会的な話題(江戸時代の循環型社会)について、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、自分の考えを論理性に注意して書くことができる。 -----2.学期期末考査	18
3 学期	1	Lesson 7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal 社会的な話題(持続可能な地域社会)について、一定の支援を活用することによって、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	16
	2	Lesson 8 Our Future with AI 社会的な話題(AI の利点と危険性)について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用することによって、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。	16
	3	-----3.学期学年末考査	

5 その他

- ・授業の後は必ず復習をする。
- ・家庭でも音読練習に取り組む。
- ・パフォーマンステストを毎学期に1回以上行う。
- ・副教材『EMPOWER』は教科書で扱う文法事項の補強として使用する。
- ・副教材『One-Weekトライアル』は長期休業等の課題として使用する。
- ・副教材『英単語ターゲット 1200』から、週に1時間、単語テストを行う。
- ・副教材『英文法教室』は教科書で扱う文法の補強として使用する。週に1時間、小テストを行う。
- ・副教材『UNITE』は長期休業等の課題として使用する。
- ・副教材『スタディサプリ』は週末課題や長期休業等の課題として使用する。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭総合	単位数	1単位
		学年等	2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	<p>新家庭総合(実教出版)</p> <p>2026最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT(第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、住生活、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価点	170点	170点	170点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第1章 自分らしい生き方と家族 第2章 子どもとかわる 第3章 高齢者とかわる	・期末試験	・期末試験 ・パフォーマンス課題	・授業への取組状況 ・授業プリント(振り返りシート) ・パフォーマンス課題
	評価点	55点	55点	55点
2 学期	ホームプロジェクト 第4章 社会とかわる 第8章 消費行動を考える 第9章 経済的に自立する	・期末試験	・期末試験 ・パフォーマンス課題	・授業への取組状況 ・授業プリント(振り返りシート) ・パフォーマンス課題
	評価点	60点	60点	60点

3 学 期	第9章 経済的に自立する(生活設計) 第7章 住生活をつくる	・期末試験	・期末試験 ・パフォーマンス課題	・授業への取組状況 ・授業プリント(振り返りシート) ・パフォーマンス課題
	評価点	55点	55点	55点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	家庭科を学ぶにあたって 第1章 自分らしい生き方と家族 1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2節 自立と共生 3節 ライフキャリアを見つめ直す 4節 共に生きる家族 5節 家族に関する法律	3
	5	第2章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉	4
	6	第3章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ	3
	7	◆----- ホームプロジェクト(夏課題) テーマを考える	1 1
	8	ホームプロジェクト	2
	9	第4章 社会とかかわる 1節 支えあって生きる 2節 共生社会を生きる	3
	10	第8章 消費行動を考える 1節 消費行動と意思決定 2節 消費生活の現状と課題 3節 消費者の権利と責任 4節 ライフスタイルと環境	4
2 学 期	11	◆-----	1
	12	第9章 経済的に自立する 1節 暮らしと経済	3
		◆----- 2学期期末考査	1

3 学 期	1	第9章 経済的に自立する 2節 将来のライフプランニング	・人生100年をデザインしよう	3
	2	第7章 住生活をつくる 1節 人間と住まい 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する		5
	3	4節 健康に配慮した快適な室内環境 5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まいづくり	・住居の設計実習、レポート ・避難場所、ハザードマップの調査	
		1年間のまとめ		1
		◆-----	学年末考査	1

5 その他

- 授業では自分の考えをしっかりと持った上で、グループ学習を通して学びを深めていきます。
- パフォーマンス課題として、発表・作品制作・レポート作成・インタビュー・課題の実践などの探究活動を行います。
- 授業プリント(振り返り)は毎時間、ファイルは定期試験ごとに提出を求めます。